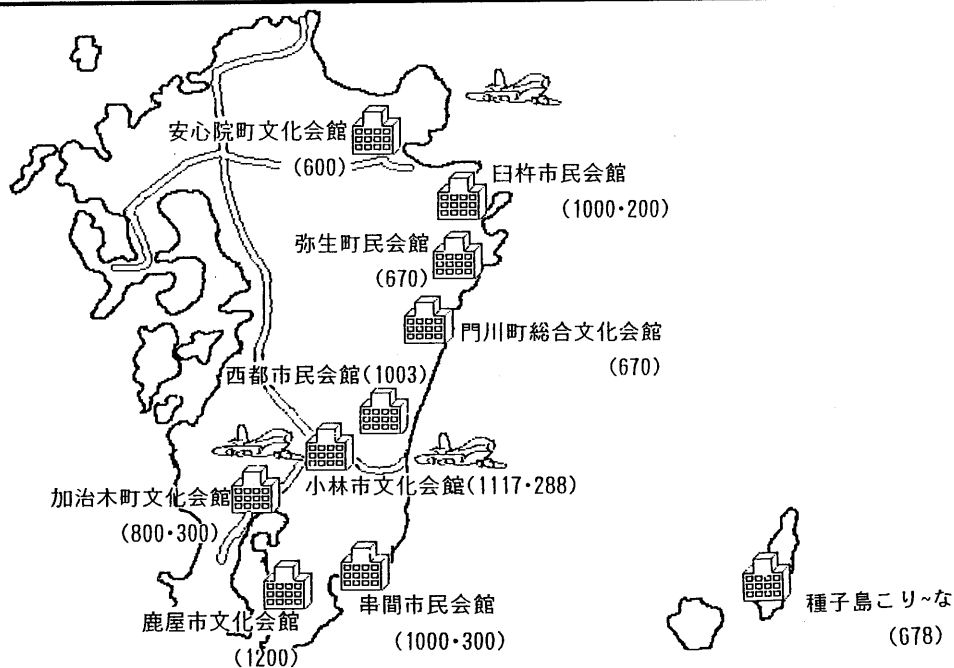


C-WAVE ネットワーク協議会



設立年	平成5年4月
地域	東九州（大分県、宮崎県、鹿児島県）
ジャンル	特に限定なし
設立の目的	<p>地方のホールにおいては、地域コミュニティ・地域文化の中核としての役割を果たすべく住民参加の文化振興を目指しつつも、施設規模や人口面での制約、交通事情等のハンディにより、多大な費用負担がネックとなって事業企画が制限される。地方におけるこれからの文化振興のため、ネットワーク化による公演の低料金化、地方特色の重視・伝統芸能の支援等を行なうことで、各文化施設の重要性を高めたい。</p> <p>東九州各県に点在する中規模以下のホールが小さな力を寄せ合い、文化(Culture)を創造(Creation)し、伝達(Communication)する、うねる波(Wave)となるために、「C-WAVE ネットワーク協議会」を設立する。 (平成5年4月:設立趣意書より抜粋)</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> • 地域のステージづくりのための定例会議(年4回以上) • 総会及び研究会の開催 • 公立文化施設等の先進地視察 • 自主文化事業企画のための資料の収集及び情報交換 • 関係機関に対する要望等 • その他、C-WAVEの目的を達成するために必要な事業
加盟機関数	10団体
加盟機関属性	<p>1) 国・都道府県・市町村立の公立文化施設(現状では全て市町村立)</p> <p>2) 音楽・演劇・舞踊・映画、その他文化的行事のための設備を有する施設 賛助会員) C-WAVEの趣旨に賛同し、会員相互において等しくその資格を有すると認められる個人若しくは行政、民間出身者</p>
活動経費	年会費 各館 10,000 円、 公演経費 各館負担。九州までの交通費を均等分担
公的助成	各館で個別に県内の助成金を申請。C-WAVEとしては(財)地域創造の助成金。
事務局	財団法人門川ふるさと文化財団 宮崎県東臼杵郡門川町南町 1140-8, Tel: 0982-63-0002

C-WAVE ネットワーク協議会

ヒアリング記録

1997/11/06

門川町総合文化会館

財団法人 門川ふるさと文化財団 | 事務局長 河野真一氏, 柏田伸博氏, 黒木 真氏

門川町総合文化会館(財団法人門川ふるさと文化財団)の概要

- 門川町総合文化会館は、平成3年4月に開館。ふるさと創世1億円事業の一環として、基本財産3,000万円の財団法人門川ふるさと文化財団を設立(平成2年11月16日)。100%に近い運営資金を門川町の一般財源から受けている。
 - 設立の目的は「宮崎県北部広域市町村圏における文化とスポーツの振興をはかり、健康で豊かな住みよい地域づくりに寄与すること」
 - 同財団では、門川町総合文化会館の運営のほか、海浜総合公園、勤労者体育センター、勤労者総合福祉センター等雇用促進事業団施設の管理運営も行なっている。
 - 670席のキャパシティを常に一杯にするのは、人口19,000人の町では容易ではない。
 - 町に対しては、最低15年計画で運営をしている部分の理解を求めている。最初の5年で運営事務を模索し、次の5年でプロパー職員の育成、最後の5年で町民の文化拠点として位置づけるというもの。
 - 自主事業は現在、年間6本から10本。「招聘(鑑賞)型」、「支援(育成)型」、「制作(創作)型」の三つの視点で主催事業を大別し、近隣会館との差別化をはかり、多岐にわたるジャンルで特色あるプログラムの策定に努めている。
 - 平成9年度予算は、約1億円。主な収入源は町からの事業委託金とチケット収入からなる事業収入9,364万円(うち委託金8,700万円)。支出の主要項目は、①管理費に約3,500万円、②委託事業費約4,780万円、③自主事業費1,600万円。
-

1. ネットワーク活動の概要

(1) ネットワーク活動の経緯・目的

- 平成3年にイルカのコンサートを実施。東京:宮崎の物価指数を100:73と仮定し、このレベルにチケット単価を設定。400万円の出演料を3,000円のチケット670席では、5割しか回収できない。
- “九州”という距離的な条件から、交通費が出演料の倍以上もかかってしまうことが大きく、交通費をまず削減しなければならない、という課題に直面した。
- 当初は、とにかく状況を知りたいと東京に行っても、事業予算の上限が840万円で客席670席では、音楽事務所でも門前払いだった。平成5年くらいまでは、情報収集だけでも苦しい状況で、開館から3~5年を経過しても、内部のホール運営事務も安定していなかった。
- 当初は個人的ネットワークをたよりに周辺地域のホールにも声を掛け、情報収集するなかで勉強を始めた。ある時間を経過することで、情報も得られるようになり、アーティスト

やプロデューサーなどの活動が、本音で話すことで見え始めた。若いアーティストの話を知ると、出演料だけでは日々の生活も安定していないことがわかり、才能に対する対価は払うべき、公演料は値切らない、という考え方に立った。

- 平成5年当初は、西都市民会館、弥生町民会館、門川町総合文化会館がネットワークを組み、地域活性化センターの「地域のステージづくり事業」の助成事業対象となった(3~5館がネットワークすることで、事業費の1/2を助成するもの。地域に根づいている事業であれば、既に制作された公演でも助成対象となった。
- 近隣ホールに声をかけ、きっかけは上記の3館だったが、最終的には6館がネットワークを組んだ。

(2) 具体的な活動内容

- 平成4年4月:他館と相談してC-WAVEという活動名称を付与。大分県、宮崎県内の6館で始まった。
- ホール間で70km四方のホールを求め、公文協の地図上に候補となるホールをプロットした。当時、東九州軸構想の中で、活性化、ソフト部分の足並みを揃えることが話題になっていた。そのようななか、①ホール同士の距離が保たれること、②自主事業を熱心にやっているところ、③歴史的遺産があるところ、④過疎的現象を多く抱えているところなどを目処に参加ホールを選んだ。
- 現在もC-WAVEへの参加を希望するホールはあるが、閉鎖的という意味ではなく、事務局としてはこのネットワーク活動そのものの基盤をもう少し確立したいという気持ちもあり、参加ホールは限定している。
- C-WAVE以外にも、鹿児島島のホールが離島に出張(出前)公演に行ったり、熊本県のネットワーク、北九州のネットワークなど、九州地方全体でさまざまなネットワーク活動がある。
- C-WAVEに参加している各ホール間の移動距離は1時間10分から1時間半程度。劇団や楽団がホール間を移動する際にも、ホール一つおきで巡回したとしても3時間あれば移動できる。
- C-WAVEの定例会は年に4回程度。それ以外に宮崎県内ホール同士のミーティングを行なう。その他、事業内容によって必要であれば随時打合わせをする。
- 賛助会員として、宮崎日日新聞社、大分合同新聞社、南日本新聞社が名を連ねている。地方都市では、地元の新聞社が地域の文化事業を永年やってきており、近年になって設立された公共ホールよりも実績やノウハウを持っている。また、メディアとしての力もあるし、情報収集力もある。
- C-WAVEには特に宮崎日日新聞の事業部が興味を持ってきて、当初はオブザーバーとしての参加だったが、後に“賛助会員”という位置づけになった。ミーティングにも宮崎日日新聞社はほぼ毎回参加してくれていた。
- C-WAVEの事業には、①統一事業と②協働事業がある。①統一事業は、できればC-WAVEに参加している10館全体でやる事業を年間1本はやりましょう、というもの。広報、メディアの対応など将来的には各館の役割分担ができればと考えている事業もある。
- ②の協働事業は、県単位や座席規模などの条件があったホール同士、2館以上で実

施する事業である。

- 平成 7 年度の①統一事業として、東京カンマーアンサンブルによる「楽しい音楽会」を実施した。これには、音楽会に未就学児を受け容れることと九州の民謡に基づいた曲目とすることで、観客層をどれだけ拡大できるかというねらいがあった。民謡＋西洋楽器というこのプログラムを継続することで、クラシックファンの拡大に繋げたい。各演奏家からチラシにメッセージをもらうなどして、演奏家に対しても親しみをもってもらえるような工夫をした。

(3) 参加各ホールの役割分担、運営方法

- 具体的な共同企画・制作のプロセスは概ね次のとおり。通年、各館ごとに情報収集・整理をするなか、4月から10月の定例会で情報の選定(統一・共同企画事業の具体的提案)、11月頃に上京して情報収集・確認、出演団体や音楽事務所、プロダクション等とのコンタクトの後、12月に予算要求、2月の定例会で事業について契約、運営等の細部を協議し、3月の議会へ提案する(年間事業計画決定)。
- 事業の調整は、6月くらいに提案を受け、8月頃に整理して再度提案を受ける。
- 制作にかかわる音楽事務所やアーティストとの交渉についても、ホール毎に役割を分担して行なっている。
- 民業と公文協の仕事を、どのように切り分ければ良いかについて、常に考えている。また、教育的効果や芸術的効果のみを常に優先して考えていると、難しい面もある。
- 企画の決定については、情報をあまねく広く収集し、隅々まで把握した段階で態度決定をしたいと思っているので、情報収集には力を入れている。
- 事務局は、C-WAVE 設立以来、門川町総合文化会館が行なっている。ただし、定例会議は持ちまわりにしており、その会議の運営は会場となるホールが担当している。

(4) 民間ホールとの連携

- 宮崎市内には、たちばな劇場、宮崎女子高校の大坪記念ホール(貸しホール)、シーガイアのホール(約 5,000 席。県が 850 億円を出資し、民間運営)という 3 つの民間ホールがある。
- 公立ホールとして、民業を圧迫したくない、地域住民の活動の場、発表の場は守りたい、という基本的なスタンスはある。

(5) 経費負担および公的支援の活用状況

- 出演料は各々のホールで負担。交通費については、九州までの交通費を参加ホールで均等分割し、九州内の移動については、自ホールの次に公演を行なう会場(ホール)までの交通費を負担。宿泊費、食事については、自ホールでの公演に関わる部分について負担する、という形。
- 経費負担については、例えばチラシを合同で発行するだけでも、単独で印刷する場合の半額にはなる。
- 会費は、年額 12,000 円/各館。通信費や参加ホールの職員を対象にした C-WAVE の研修(年 2 回)等の際にかかる外部講師の謝金・交通費などに使われている。
- 公的支援は、各県単位の助成や特別事業(大分県の国民文化祭など)などからめて、各館独自に申請している。
- 東京カンマーアンサンブルの場合、大分県は県の事業としてこの公演を実施したため、

東京カンマーアンサンブル協会は大分県と契約をしている。県内の各ホールは100万円の公演料を負担し、その事業を実施した。宮崎県内のホールは、各ホール個別に東京カンマーアンサンブル協会と契約をしている。

- ネットワークを組むことで、契約先の音楽事務所や芸術団体も、特別な出演料でのオファーをしてくれる。3会場の場合、5会場の場合、7会場の場合等、複数の見積もりを出してくれるケースもある。
- ネットワーク活動の背景には、「何とかして良い公演を少しでも安く提供したい」という経済的な理由があった。また、「楽しい音楽会」を今後さらに地元扎根させたいという思いもある。10月23日から11月2日まで、ヴィオラ等の演奏を地元の出演者の指導も兼ねて、ノーギャラで離島や分校、養護施設など11会場で実施してもらうことになっている。指導とコンサートという形式。これに対してC-WAVEは現地交通費を負担している。
- C-WAVE全体として受けている公的支援は、(財)地域創造の助成金のみ。
- 企業メセナという意味では、三井海上火災保険が九州内の現地交通費を負担してくれたこともある。「地域住民のためのコンサート」として、例えば昨年、安心院町に来た公演を門川町に呼ぶための交通費を負担してくれた。

2. ネットワーク活動の効果、問題点・課題等

(1) ネットワーク活動による効果

- 各々のホール職員が、「ホールというのは地域の活性化につながるのだ」ということを意識しはじめていると思う。「招聘型」「支援型」「創作型」など多様な公演の方向があるなかで、とにかく“何か考えようではないか”という意識になってきた。
- 現状と課題を分析しながら、東九州の10館が相互に見つめ合う貴重な機会になっていると思う。また、東九州の歴史についても再考する機会になっている。
- 今後は、各C-WAVE参加館が、各々所属する市町村に文化政策に対する明確なビジョンがないので、専門家の設置も含めて啓蒙・問題提起していく役割を担う必要がある。
- プロモーターやプロデューサーに定例会に参加してもらって実際に話しを聞く機会を設けることもある。吉本興業の制作部長に来てもらった時には、C-WAVEにあった公演を考えてくれるような話に発展し、地元の声をソフトに反映することができたと思っている。
- 単独ホールで企画内容を検討していると客観的な判断は難しいが、C-WAVEのように定例会で複数で議論できる場があれば、自分自身を客観視することもでき、“甘い話”もシビアに判断することもできる。
- 公立ホールを食い物にしたり、出演者を消費物として考えているような人には、会議に参加してもらわなくても良い。真剣に地方の芸術について議論してもらえる人だけで良いと考えている。何年かの活動を経て、マスコミ関係者や専門家とも自然発生的な交流が始まり、ノウハウも教えてくれるようになった。

(2) ネットワーク活動の問題点・課題

- 職員の異動は、公立ホールにとっては解決されることのない問題だが、逆に、“市町村役場内でホール運営に関する理解者が増える”というポジティブな考え方をしている。文化会館は音楽振興のために必要なのだ、というコンセンサスを得る必要がある。
- ソフト面の課題としては、やはり企画内容。各ホールには山のような公演案内が来る。見れば見ただけ上演したくなくなってしまうような状況のなかで、プログラムを決め込む手法、選択する場合の手法が求められている。
- 公共ホールとしての一番のネックは事業費を使いきらなければならないことだった。予算を消化しないと次年度から予算が削減されるという恐れから、公共事業は予算を使い切るのが鉄則のようなところもある。しかし、われわれは、ネットワークを組むことで生じる事業費削減効果により予算が余った場合には、無理して中途半端な事業を行うことはせず、執行残としている。
- その他の問題点としては、C-WAVE参加ホール間の事業調整に時間がかかること。会議では個人の主観も入るし、所属する市町村に長期的なビジョンがないところで担当者が異動した場合“口約束”で進んでいたことが引き継がれないこともある。
- 職員の異動の問題については、根本的な解決は難しいものの、当然異動はあるものと思って受け容れ、後任を探しながら事業をすすめている。
- 職員の悩みとしては、民業の圧迫を避けたいという思いは強くある。そうすると、貸し館をしない分、自主事業をやらなければならないが、これも容易なことではない。
- クラシックなど芸術性の高い公演に必ずしも観客が入るとは限らない。演目の選定をクラシックにしておけば無難だ、ということも、あまりに安易な考えである。芸術性と大衆性の融合点を模索したいと考えている。コンサートホールが真に開かれた存在になり、学校や離島など、ホールの外へ出ていくことが求められていると思う。

以上

C-WAVE NETWORK自主事業(統一・協働企画)公演実績表

		(休館日公演館発生)金額に繰越されています						
(県名)	統一事業	統一事業	協働事業	協働事業	協働事業	協働事業	協働事業	統一事業
会館名	東京キッドクラブ「夢の湖」 270万(280万)円	劇団ひと里「女相模 〜徳川の川/橋筋」 272万(300万)円	カスターファミリー コンサート 45万(75万)円	東洋大学 私学協会 272万(300万)円	人形劇 文楽 300万(350万)円	ファミリーミュージカル 「大原の水さなほ」 447万(622万)円	ジェレリオンコンサート 150万(310万)円	東京キッドクラブ 「楽しい音楽」 178万(231万)円
公演費	270万(280万)円	272万(300万)円	45万(75万)円	272万(300万)円	300万(350万)円	447万(622万)円	150万(310万)円	178万(231万)円
(大分県)								
安心院町文化会館		H6. 7.16(土)	H6. 8.20(土)		H7. 2.27(月)	H7. 8. 9(木)	H7.10. 1(土)	H7.10.30(月)
白杵市民会館	H5. 9.17(金)		H6. 8.24(木)					H7.10.29(日)
弥生町民会館	H5. 9.18(日)	H6. 7.15(金)			H7. 2.28(火)			
(宮崎県)								
門川町総合文化会館	H5. 9.19(日)	H6. 7.14(木)	H6. 8.18(木)	H6.10.29(土)	H7. 3. 1(木)	H7. 8.11(金)	H7.10. 2(日)	H7.10.21(土)
西都市民会館	H5. 9.21(月)	H6. 7.12(火)				H7. 8.12(土)		H7.10.22(日)
小林市文化会館	H5. 9.22(火)	H6. 7.10(日)	H6. 8.17(木)	H6.10.28(金)				H7.10.24(火)
串間市民会館	H5. 9.24(金)	H6. 7.11(月)						H7.10.28(土)
(鹿児島県)								
鹿屋市文化会館						H7. 8.13(日)		H7.10.27(金)
加治木町文化会館								H7.10.25(木)
種子島こりーな								H7.10.19(木)
その他の主催団体				宮崎日報社 東京首大宮崎県人会		8/8(火) 福岡県(カトリックホール) 鹿児島文化会館		10/18(木) 福岡県(コスモイト行演) 行演文化ホール

道路九州全図

WAVE が贈る 東京カンマーアンサンブル

楽しい音楽会



企画: C-WAVE ネットワーク、東京アンサンブル協会
九州民謡によるファンタジー初公演

プログラム

夜のセレナード — 第1楽章
童謡集 — ゆりかご・七の子ほか
ティンズ・メドレー — 童に願いをほか
ピッツィカート・ホルカ
もみじ
そなりのドトロ
四季より「春」(独奏: 双紙正哉・山田慶一)
九州民謡によるファンタジー
荒城の月による「幻想的変奏」
赤とんぼ
早春譜
花
弦楽のためのセレナード 八長調

モーツァルト
編曲: 松山邦子
シコトウラス兄弟
みんなでおどろ
編曲: 丹羽道子
ブレイク・アルティ
江藤誠仁右衛門
編曲: 松山邦子
中田章 (編曲: 江藤誠仁右衛門)
薄藤太郎 (編曲: 松山邦子)
チャイコフスキー

宝くじ助成事業

日		程	
10/18 (祝)	コスメイト行橋	10/25 (祝)	加治木町福祉センター
10/19 (祝)	種子島こり〜な	10/27 (祝)	鹿屋市文化会館
10/21 (土)	門川町総合文化会館	10/28 (日)	串間市文化会館
10/22 (日)	西都市民会館	10/29 (日)	臼杵市民会館大ホール
10/24 (火)	小林市文化会館	10/30 (月)	安心院町文化会館

10/21 (土) 門川総合文化会館

■開場 18:30 ■開演 19:00

■入場料金 (全席指定)

一般指定……………2,000円(当日200円増)

ファミリー……………1,000円(当日200円増)

■入場券発売所
●セレクト ●くろぎ精肉店 ●大森酒店 ●松枝酒店 ●スーパー平城
●ガフ岡計店 ●あさひ・ひまわり文化財団 ●延岡総合文化センター
●西村延岡店 ●旭サーブ本店 ●日向市文化交流センター
●ASTY 日向野原 ●小せでや ほか
■入場券発売日 8月27日(日) AM10:00

■主催、お問合わせ先 財団法人ふるさと文化財団 ☎0982-63-0002

事業企画の工夫について

「C-WAVEが贈るクリスマス楽しい音楽会」を例にして

1. ホールビジョンの確認～ねらいの明確化のために

- (1) 中央の優れた舞台芸術を低廉で鑑賞する機会を提供する。
- (2) 家族のふれあいを深めるとともに、音楽愛好者の底辺拡大をめざしながら、地域の生活に豊かさを創出するような住民を対象とした演奏会とする。
未就学児のホール入場を試行し、幼児期からの音楽体験づくりから、情操豊かな青少年の健全育成と公共マナーの向上につなげる。

2. 企画の初期段階として

- (1) C-WAVE ネットワーク協議会(以下 [C-WAVE])でクラシックコンサート実施の可能性確認
- (2) 地域への理解を有する演奏家と直接に企画を話し合い、具体的内容提案。
- (3) C-WAVE加盟館のうち7館で実施し、ネットワーク効果の最大活用を図る。

3. 企画における具体的工夫

- (1) 「九州から発信する公演」として、実力ある地元有缘のある演奏家を選定した。
- (2) ディズニーからバッハまで、演奏プログラムに幅をもたせ、子どもやクラシックの入門者にも親しみやすく楽しめる内容にした。
- (3) C-WAVEと東京アンサンブル協会の共同企画で、作曲家江藤誠仁右衛門氏により作曲されたオリジナル曲「九州民謡によるファンタジー」を再演する。
- (4) 入場年齢制限を緩和すべく演奏家と相談し、未就学児(4歳以上)入場を試行。
- (5) 実施7館すべてが住民参加プログラムを盛り込み、地元コーラスの出演を実現。

4. 運営上の具体的工夫

- (1) 料金、開演時刻等を統一し、TVスポット等の共同宣伝の効率化、低廉化を図る。
- (2) ポスター等制作では、タイトルイメージを第1としながら、演奏家のプロフィールにも試みとして趣味などを盛り込み、実施7館で共同制作し経費削減に努めた。
- (3) 実施7館の職員が可能な限り分業し、効率的に作業を行う。
- (4) 宮崎県内3館については宮崎日日新聞社(C-WAVE賛助会員)を名義主催として、地元最大手新聞社の社告をはじめ紙面広告を展開し、宣伝効率を高める。

5. 事業効果として

- (1) 本事業は2回目であり、演奏家の地域理解も、地域住民の音楽及び演奏家理解も相互に深まることが期待され、単発事業にはない効果が期待される。
- (2) 住民参加は、ホール理解と、ホールは自らのモノという認識の高揚を促進する。
- (3) ネットワークによる事業は、事業の企画運営面でのさまざまなアイデアや日常的な会館管理運営の学びあいの場でもあり、職員の資質向上の効果は大きい。
- (4) 新聞社との日常的交流から「宮日美展巡回展」などの新しい事業が生まれている。

6. 招聘型事業企画の問題点～悩みとして

- (1) 国内外アーティストの公演スケジュールが11月前後に集中しがちであり、継続したい事業と新しく取り組みたい事業等の調整が困難な場合が多い。
- (2) 主演者変更が発生。地域住民をはじめとするさまざまな信頼関係に悪影響を及ぼすことになった。理由の如何を問わず容認されることではないが、契約の相手側の信用度の把握が今後の課題となっている。

事業実施までの段取りについて

1. ホールビジョンの確認

- ・地域事情、各種文化振興ビジョン、会館特性等を踏まえたホールビジョンの確認
- ・C-WAVEネットワーク協議会等でのホールビジョンの研究
→加盟各館のビジョンを踏まえた上での管理運営、事業企画のノウハウ検討。

2.-① 情報の収集整理

- ・送付情報のジャンル別整理と内容の確認、来訪劇団やプロモーター等(以下「劇団等」)からの情報聴取
- ・県北文化団体連絡会での情報交換→近隣施設の方針等の聴取や情報補充の場として活用。
- ・C-WAVEネットワーク協議会での情報交換→各会館からの情報交換とネットワーク可能性の検討。
- ・劇団等やメセナーへの直接訪問による情報の収集→C-WAVEネットワーク協議会での協働情報収集で効率化を図る。

一② 情報の選択

- ・前回事業までのアンケート調査結果、住民の声等の参照(ニーズとシーズの検討)
- ・事業ジャンルのバランス検討→会館の年間、複数年間でのバランス、県北地域での年間バランス等への配慮。
- ・劇団等の企画内容、経費等、公演実績、経営状況の検討→キャストを含む企画内容や経費見積もりの評価とともに、劇団等の信用度を重視。
- ・C-WAVEネットワークへの統一事業、協働事業の具体的提案

一③ 事務局内検討

- ・事業の抽出および位置づけ、運営形態等の検討
- ・事業経費等の検討と事業計画案作成→県北文化団体連絡会やC-WAVEネットワーク協議会への計画案の相互報告。とくにC-WAVEネットワークによる事業については契約、運営等の細部協議。

3. 予算要求

4. 理事会への提案

5. 年間事業計画決定

6. 事業実施

C-WAVEネットワーク協議会設立と活動経過

C-WAVEネットワーク加盟館

県名	市町等	人口	施設	キャパ	施設住所
大分県	安心院町	9,001	安心院町文化会館	600	大分県宇佐郡安心院町大字下毛 2130
〃	臼杵市	36,800	臼杵市民会館	1,000	大分県臼杵市大字臼杵 72-83
〃	弥生町	7,305	弥生町民会館	670	大分県南海部郡弥生町大字上小倉 1157-2
宮崎県	門川ふるさと文化財団	19,362	門川町総合文化会館	670	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末 1140-8
〃	西都市	36,363	西都市民会館	1,003	宮崎県西都市大字右松 176
〃	小林市	41,114	小林市文化会館	1,117	宮崎県小林市大字野 1650
〃	串間市	26,487	串間市民会館	1,000	宮崎県串間市大字西方 6524-58
鹿児島県	鹿屋市	78,905	鹿屋市文化会館	1,200	鹿児島県鹿屋市北田町 11-107
〃	加治木町	22,856	加音ホール	800	鹿児島県始良郡加治木町 253
〃	中種子町	10,302	種子島こりーな	678	鹿児島県織毛郡中種子町野間 6410-1
合計		288,495		8,738	
宮崎日日新聞社					宮崎市高千穂通 1-1-33
大分合同新聞社					大分市府内町 3-9-15
南日本新聞社					鹿児島市易居町1番2号

名称 C-WAVE(シー・ウェーブ)

Culture	文化
Creation	創造
Communication	伝達
WAVE	うねる波

設立と活動経過

平成3年12月～平成4年4月

施設相互訪問(設立に向けての調整)

(門川町総合文化会館、串間市民会館、西都市民会館、弥生町民会館、高山町文化会館、宇佐市民会館)

平成4年4月24日:第1回地域のステージづくり事業推進連絡会

会場 門川町総合文化会館
 出席市町 宮崎県西都市/串間市/門川ふるさと文化財団
 大分県 弥生町

会として発足を確認

他市町の加入を承認 宮崎県小林市/大分県臼杵市

会の活動についての確認

- (1) 自主文化事業の共同企画について
- (2) 合同の研修(自主事業、管理関係)
- (3) 地域文化活動の共同支援について
- (4) 定期連絡会の開催、協議について

平成4年9月9日・10日:第2回地域のステージづくり事業推進連絡会

会場 西都市民会館
 出席市町 宮崎県|西都市/串間市/門川町ふるさと文化財

団/小林市

大分県 弥生町/臼杵市

オブザーバー 宮崎日日新聞社

- ・会の名称を“C-WAVE”と決定
- ・平成5年度共同企画をミュージカルと決定し演目を選定することを確認
- ・(出演料 3,000,000 円以内)
- ・宮崎日日新聞社は南九州管内新聞社連絡会(大分、宮崎、鹿児島、熊本各県)へ参画を呼びかける旨確認。
- ・平成4年9月19日 宮崎県えびの市民会館訪問
地域のステージづくりについて合同研修
- ・平成4年9月30日 宮崎日日新聞社、大分合同新聞社訪問
南九州管内新聞社連絡会の参画方法確認
- ・平成4年10月15日 大分県臼杵市民会館訪問

平成4年11月10日・11日:第3回定例会 C-WAVEネットワーク串間会議

会 場 串間市民会館

- ・共同事業演目、劇団の検討(各市町より提案)

日程の調整

- ・劇団との調整方法の検討
- ・報道機関の役割検討
- ・C-WAVE移動事務局の検討及び決定
(事務局の業務)
- (1) 各館との事務連絡、調整
- (2) 日程の調整
- (3) 劇団との交渉方法の決定
- (4) その他の関連事務調整

平成4年12月16日・17日:第4回定例会 C-WAVE ネットワーク弥生会議

会 場 弥生町民会館

- ・公演目の決定 ミュージカル「夢の湖」

劇団の決定 東京キッドブラザース

- ・公演時期 9月下旬で劇団と調整
- ・公演費用 300~400万円(宣材費含)
- ・劇団との交渉協議について
- ・今後の会の活動について

平成5年2月1日・2日:第5回定例会 C-WAVE ネットワーク弥生会議

会 場 弥生町民会館

劇団関係者と詳細について協議

- ・日程、経費、公演演目等/公演後の交換会について

平成5年度の活動について

- ・事業研修会:場所 津久見市民会館
- ・「東京キッドブラザース」の活動について視察

平成5年5月31日(月),6月1日(火):第6回定例会 C-WAVE ネットワーク西都会議

会 場 西都市民会館

- ・各館の状況報告

宮崎日日新聞社文化事業報告/各館の状況報告

- ・東京キッドブラザース公演について(契約について/宣伝、広報活動について)
- ・冠公演等の実施について(企業メセナーを含む)
- ・ニューミュージック等の公演
- ・移動美術展の開催について
- ・施設のメンテナンス研修会(メーカー等による再教育)

平成5年7月15・16日:大分県竹田市、九重町、安心院町文化会館訪問

平成5年8月18日(水)19日(木):第7回定例会 C-WAVE ネットワーク臼杵会議

会 場 臼杵市民会館

- ・安心院文化会館紹介及びC-WAVE加盟を満場一致で承認
- ・各館の状況報告
- ・宮崎日日新聞社文化事業報告/各館の状況報告
- ・C-WAVE規約の検討～協賛会員等一部を見直して次回再検討
- ・東京キッドブラザース公演について
- ・公演を1か月前にして各館の現状追い込み宣伝、広報活動について
- ・キャンペーン等実施について
- ・平成6年度自主事業企画の提案
- ・宮崎日日新聞社及び各館の提案を持ち帰り次回再検討
- ・役員選出～別紙役員構成表参照

平成5年10月20日(水)21日(木):第8回定例会 C-WAVE ネットワーク小林会議

会 場 小林市民会館

- ・ステージづくり事業について(a 精算について/b 反省)
- ・来年度事業について
- ・その他

平成6年1月31日(月)2月1日(火):第9回定例会 C-WAVE ネットワーク安心院会議

会 場 安心院町文化会館

- ・平成6年度 統一企画について
- 「女相撲」公演に関して宣材(ポスター・チラシ等)の共同製作を検討。
- ・平成6年度 自主企画事業について
- 各館より企画を報告。今後も相互調整していくことで了承。
- ・その他 ①クラシック愛好家を増やすためには、どのような対策が必要か?

平成6年4月19日(月)20日(火):第10回定例会 C-WAVE ネットワーク串間会議

会 場 串間市民会館

- ・平成6年度 統一企画について
- ・平成6年度 自主企画事業について

平成6年6月17日(金)18日(土):第11回定例会 C-WAVE ネットワーク門川会議

会 場 門川町総合文化会館

総 会

- ・1号議案 平成5年度事業報告について
- ・2号議案 平成5年度決算報告について
- ・3号議案 平成6年度事業計画(案)について
- ・4号議案 平成6年度会計予算(案)について
- ・5号議案 平成5/6年度役員について

定例会

- ・平成6年度 統一企画事業について
- ・C-WAVEが贈る 劇団みなと座 『女相撲～憧れのハワイ場所』
- ・平成6年度 協働企画事業について
 - ガスタガー・ファミリーコンサート(小林市・門川町・安心院町・臼杵市)
 - アルバートマックニール&ジュビリーシンガース(門川町・安心院町)
 - 東京音楽大学ガムラン演奏会 (小林市・門川町・共催 宮崎日日新聞社)
 - 国指定重要無形文化財 文楽公演 (門川町・安心院町・弥生町)
- ・平成7年度 統一、協働企画事業について
 - 地域のステージづくり事業の提案
 - 現地研究、調査ならびに出演交渉のための出張日程の調整について
 - その他

平成6年9月1日(金)2日(土):第12回定例会 C-WAVE ネットワーク弥生会議

会 場 弥生町民会館

協議

- ・1号議案 平成6年度統一・協働企画自主文化事業について
 - 統一企画「地域のステージづくり事業」
 - 劇団みなと座 女相撲～憧れのハワイ場所について反省
 - 協働企画 ガスタガーファミリーコンサートについて反省
- ・2号議案 平成7年度統一・協働企画自主文化事業について
 - 門川～未就学児向けクラシックコンサート・ミュージカル
 - 西都～大草原の小さな家・ニューミュージック・劇団四季
 - 串間～クラシック・ニューミュージック(中村雅俊など)
 - 臼杵～音楽座・ニューミュージック
- ・3号議案 平成7年度統一・協働企画事業にかかる現地研修、調査並びに出演交渉のための出張日程調整について
 - 11月8日(火)～11月11日(金)に決定
- ・4号議案 C-WAVEネットワーク協議会加入申込み館について
 - 鹿児島県鹿屋市文化会館を承認
- ・5号議案 その他

平成6年12月1日(木)2日(金):第13回定例会 C-WAVEネットワーク西都会議

会 場 西都市民会館

協議

- ・1号議案 平成6年度協働企画自主文化事業について
 - 協働企画事業の実施報告(ガムラン音楽会ほか)
- ・2号議案 平成7年度統一企画自主文化事業について
 - 地域のステージづくり事業の選定(木野雅之と東京カンマーアンサンブル)
 - a ディズニーキャラクター使用の検討
 - c 未就学児童の入場について
- ・3号議案 平成7年度協働企画自主文化事業について
 - (バンダイスーパーミュージカル 大草原の小さな家)
- ・4号議案 出演交渉の出張報告について

平成7年3月6日(月)7日(火):第14回定例会 C-WAVE ネットワーク臼杵会議

会 場 白杵市民会館

協議

- ・1号議案 平成7年度統一・協働企画自主文化事業について
統一企画『表現創造活動地域支援事業』
C-WAVEが贈る楽しい音楽会～東京カンマーアンサンブル
ファミリーコンサートの取り組みについて(契約料金・スケジュール・舞台仕込み・出演者・統一タイトル・ディズニーキャラクターの使用検討)
- ・2号議案 平成7年度協働企画自主文化事業について
大草原の小さな家ほかの取り組みについて
- ・3号議案 平成6年度各加盟館の自主文化事業の経過について
- ・4号議案 その他
[串間市文化会館]①業務委託について、現在地方自治法施行令第167条の2第1項の規定により随意契約としているが各館の処理について
[加治木町文化会館]①著作権使用・使用料についての算出、計上の仕方
②チケット販売について協力団体をどのようにしているか
③地域住民とともに地域興につながるような事業やイベント実施の有無
④使用料減免処置についてどのような範囲で適用していますか
[門川町総合文化会館]①平成8年度自主文化事業について
[大分合同新聞社]①南日本新聞にも掛けてはどうか
[宮崎日日新聞社]①今秋、宮日音楽コンクールを実施

平成7年6月8日(木)9日(金):第15回定例会 C-WAVE ネットワーク小林会議

会 場 小林市民会館

総会

- ・1号議案 平成6年度事業報告について
- ・2号議案 平成6年度決算報告について
- ・3号議案 平成7年度事業計画(案)について
- ・4号議案 平成7年度会計予算(案)について
- ・5号議案 平成7,8年度役員について

定例会

協議

- ・1号議案 平成7年度統一・協働企画自主文化事業について
統一企画『表現創造活動地域支援事業』
C-WAVEが贈る楽しい音楽会～東京カンマーアンサンブル
ファミリーコンサートの取り組み(宣伝広告)について
- ・2号議案 平成7年度協働企画自主文化事業について
大草原の小さな家(宣伝広告)の取り組みについて
- ・3号議案 その他
[鹿屋市文化会館]①ポスター、チラシ等をC-WAVEで販売する計画はないか
[加治木町文化会館]加音ホールの柿落とイベント及びオープン後の催物について来年検討されている公演等はないか
- ・4号議案 平成7年度全国公立文化施設協議会総会について

平成7年8月24日(木)25日(金):第16回定例会 C-WAVE ネットワーク加治木会議

会 場 加治木町役場

定例会

- ・1号議案 平成8年度各館自主文化事業について
- ・2号議案 C-WAVEが贈る楽しい音楽会～東京カンマーアンサンブルファミリーコンサートの取組み(宣伝広告)について
 - ①テレビスポットキャンペーン期間について(テレビ宮崎)
 - ②ラジオ番組のチケットプレゼントについて
 - ③FM、AMラジオのスポンサーとの協議について
 - ④九州民謡メドレー作曲について(作曲家 江藤誠仁右衛門)
- ・3号議案 その他 ①ヴォイスファクトリー(株) 輪島氏説明

平成7年10月3日(火)4日(水):第17回定例会 C-WAVE ネットワーク安心院会議

会 場 安心院町文化会館

定例会

- ・1号議案 C-WAVEが贈る楽しい音楽会～東京カンマーアンサンブルファミリーコンサートについて
- ・2号議案 平成8年度統一企画自主文化事業について
- ・3号議案 平成8年度各館自主文化事業案について
- ・4号議案 出演交渉について
- ・5号議案 その他プロモーション企画書紹介

平成8年2月21日(水)22日(木):第17回定例会 C-WAVEネットワーク門川会議

会 場 クリエイティブセンター門川

定例会

- ・1号議案 平成8年度統一・協働、単独企画自主文化事業について
- ・2号議案 地域におけるアートマネジメントについて
- ・3号議案 各新聞社(賛助会員)との事業共催のあり方について
- ・4号議案 平成8年度定例会開催予定
6月弥生町 8月中種子町 10月鹿屋市 2月串間市
- ・5号議案 その他

平成8年6月11日(火)、12日(水):平成8年度総会 会場:弥生町民会館

- 1) 平成7年度事業報告について
- 2) 平成7年度決算報告について
- 3) 平成8年度事業計画(案)について
- 4) 平成8年度会計予算(案)について
- 5) 平成7・8年度役員について

平成8年6月11日(火)、12日(水):第1回(18回)定例会弥生会議/弥生町民会館

- 1) 平成8年度統一・協働企画自主文化事業の進捗状況と問題点について
 - ①ジュビリーシンガーズ(安心院、臼杵、弥生、門川、小林、加治木)
 - ②源氏物語(西都、串間、鹿屋、中種子)
 - ③モスクワ少年合唱団(西都、加治木)
 - ④劇団四季(安心院、臼杵、小林、中種子)
 - ⑤ピッカリ座(安心院、西都)
 - ⑥N響アンサンブル(弥生、門川)
- 2) 平成8年度各館事業について
- 3) 平成9年度事業計画について

- ①各館の事業計画
- ②統一・協働企画について
- ③ その他企画提案 ・梅若(流)能について(鹿屋)
 - ・宮日音楽コンクールについて(宮日)
 - ・東京カンマーアンサンブル協会(白木氏)
 - ・熊本日日新聞社(小串氏)
- 4)その他
 - ①平成9年度事業に係る現地研究、調査の為の出張について
 - ②アートプロデューサー養成講座の講師派遣依頼について
 - ③会館管理運営上の問題点について(串間市提案)

平成8年8月16日(金)17日(土):第2回(19回)定例会中種子会議/種子島こりーな

- 1)平成8年度統一企画事業の進捗状況について
- 2)平成9年度統一・協働企画事業について
 - ①統一企画「助成事業」について
 - ②メセナー支援事業について
 - ③協働企画事業提案について
- 3)平成9年度事業に係る現地研究、調査の為の出演交渉について
- 4)SP業者からの情報提供について
- 5)定例会の会場・日程について

平成9年4月西都市/8月臼杵市/10月加治木町/平成10年2月安心院町

平成8年10月3日(火)、4日(水):第3回(20回)定例会鹿屋会議

- 1)平成8年度協働企画事業の進捗状況について
- 2)平成9年度協働企画事業(案)について
- 3)平成9年度自主企画事業(案)について
- 4)ホール(舞台)関係業務の範囲について(串間市提案)
- 5)SP企画提案紹介

平成9年2月17日(月)、18日(火):第4回(21回)定例会串間会議/串間市民会館

- 1)育成型事業について

地元素材を活用した住民参加型段組みなどの地域におけるアートマネジメントについて(提起)

 - ①伝統芸能保存活動の支援・育成・発掘・主催・共催
 - ②音楽活動(器楽・声楽)
 - ③演劇活動 //
 - ④その他
- 2)鑑賞型事業について
 - ①各ジャンルのファン層拡大について
 - ②年齢、性別等を考慮した事業の企画について
 - ③ニーズ(needs:顧客の求めるもの)に応えられる事業取り組み
 - ④シーズ(seeds:活動の根源となるもの)的な事業取り組み
- 3)事業の企画と運営(経営)について

演歌三昧の反省(プロモーターの資質、キャスティング、契約内容ほか)
- 4)平成9年度助成事業経過について
- 5)企業メセナの地域文化振興基金について

6) 役員改選について

[臨時会議の開催]

- (1) 宮崎県内会議 平成8年5月14日(月) 宮日会館
 - 1) 宮崎日日新聞社(紙齢2万号記念)との共催事業について
 - ① C-WAVEが贈るアルバートマックニール&ジュビリーシンガーズ
 - ② C-WAVEが贈るスーパーミュージカル源氏物語
 - 2) 共通事項の確認について
- (2) 宮崎県内会議 平成8年7月2日(火) 宮日会館
 - 1) 宮崎日日新聞社(紙齢2万号記念)との共催事業について
 - 2) 社告の時期について
 - 3) 宣伝材料への掲載について
 - 4) その他(電波媒体について)
- (3) 加治木会議 平成9年3月12日(水)、13日(木) 加音ホール
 - 1) 平成9年度自主文化事業について
・吉本興業(広中氏)との打合わせ

[情報収集]

(1) 合同情報収集の実施

- 1) 平成8年11月11日(月)(財)地域創造 芸術環境部訪問 *全館
 - ①平成8年度表現創造活動支援事業助成申請等事務について
 - ②平成9年度事業助成について
- 2) // 国際交流基金人物交流部受入課訪問 *全館
- 3) // (財)自治総合センター訪問 *希望館
- 4) // アルス東京訪問 *希望館
- 5) // 劇団ピッカリ座訪問 *希望館
- 6) // アオイスタジオ訪問 *希望館
- 7) // スイセイミュージカル《新宿で面談》*希望館
- 8) 平成8年11月12日(火)東京都庁都民情報センター訪問 *希望館
- 9) // (財)みどり教育財団訪問 *希望館
- 10) // 伊藤音楽事務所訪問 *希望館
- 11) // (財)三井海上文化財団訪問 *安心院
- 12) // イマジン訪問 *希望館
- 13) // シアターアプル訪問 *希望館
- 14) // (財)日本青年協会訪問 *弥生
- 15) 平成8年11月12日(火)東京オペラシティタワー・公文協訪問 *希望館
- 16) 平成8年11月13日(水)カザルスホール訪問 *
- 17) // テレビマンユニオン音楽事業部訪問 *
- 18) // (財)三井海上文化財団 *全館

[統一・協働企画事業の実施]

(1) 協働企画事業「ピッカリ座人形劇・アリババと40人の盗賊」

平成8年8月18日:安心院町文化会館/平成8年8月23日:西都市民会館

- (2) 協働企画事業「スーパーミュージカル源氏物語」
 平成8年11月17日 西都市民会館 *宮崎日日新聞社紙齢2万号記念事業
 平成8年11月19日 串間市民会館 *宮崎日日新聞社紙齢2万号記念事業
 平成8年11月22日 鹿屋市文化会館
 平成8年11月23日 種子島こり～な
- (3) 協働企画事業「アルパートマックニール&ジュビリーシンガース」
 平成8年11月27日 加治木町文化会館(加音ホール)
 平成8年11月29日 小林市文化会館 *宮崎日日新聞社紙齢2万号記念事業
 平成8年11月30日 門川町総合文化会館 *宮崎日日新聞社紙齢2万号記念事業
 平成8年12月3日 安心院町文化会館
 平成8年12月4日 臼杵市民会館
 平成8年12月5日 弥生町民会館
- (4) 協働企画事業「モスクワアカデミー少年合唱団」
 平成8年12月16日 加治木町文化会館(加音ホール)
 平成8年12月17日 西都市民会館
- (5) 協働企画事業「劇団四季・嵐の中の子供たち」
 平成9年2月4日 安心院町文化会館
 平成9年2月15日 臼杵市民会館
 平成9年2月17日 小林市文化会館
 平成9年2月25日 種子島こり～な
- (6) 協働企画事業「N響アンサンブルと日本のトップアーティストたち～音楽世界一周の旅」
 平成9年2月21日 弥生町民会館 *三井海上文化財団(地域住民のためのコンサート)助成
 平成9年2月22日 門川町総合文化会館 *三井海上文化財団企画協力

[ネットワーク拡充活動]

C-WAVE事業推進について説明

- 1) 宮城県文化振興財団アートプロデューサー養成講座出席(平成8年6月27日)
- 2) 芸団協、芸能文化情報センター、秋のセミナー出席(平成8年10月31日)
- 3) 横浜市文化振興事業団設立5周年記念アートシンポジウム出席(平成8年11月21日・22日)

[その他]

- (1) 公立文化施設協議会への参加
 - 1) 全国公立文化施設協議会
 - 2) 九州公立文化施設協議会
 - 3) 大分県公立文化施設協議会
 - 4) 宮崎県公立文化施設協議会
 - 5) 鹿児島県公立文化施設協議会
- (2) (財)地域創造が行う「ステージラボ研修」への参加